

～四旬節黙想会～

主の祈りはイエス様自身が教えてくださった祈りで、他の宗教には神自身が教えてくださった祈りはありません。

「天におられる私たちの父よ」私にとって神様はお父ちゃん存在です。

「私たちも許しますから私たちの罪を許してください」戦争をやめなさいと言いながら自分たちが争っていたら 戦争を止めなさいとは言えないのです。

では何でも許さないといけないのでしょうか？

天のお父ちゃんはすべての人を愛しているが、すべての行いが良いとは言いません。何をしたいのか、何をしてはいけないのか。聖書に書いています。大丈夫間違っても許してあげると。

姦淫の場面で捕まった女、私も許すがこれからは罪を犯さないようにとその人を許します。プーチンの為にも祈ることが必要です。

「b e (存在)」と「d o (行為)」存在そのものが大事なのです。

アベ・マリアの祈りについても「神ありご」の気づきがありました。

私は学校でアベ・マリアの祈りを教えていましたが、卒業したら祈る機会がない彼・彼女たちに教えても意味があるのか疑問に思った私は先輩の神父様にその疑問をぶつけました。

そしたらその神父様は次のように答えてくれました。「子供たちは祈らなくなるかもしれないが、一度でも祈ってもらった方(マリア様)は祈ってもらったことを忘れない『死を迎えるときも祈ってください』と祈られたマリア様はそのとき必ず祈ってくださる。」とそれこそ、神様ありがとう、ごめんなさい。

《講話2》

私はオプスデイに属しています。オプスデイでは「日常の聖化」を大切にしています。

私たちは信者なので日曜にはミサに来てお祈りをしますが、帰ってからのの方が大切で普段のことと神様をつなげる必要があります。

聖パウロは「神の御心はあなた方が聖なる人になることです。」と言っています。さらっと言っていますが、なかなか大変なことです。

この教会は聖パウロですが、聖パウロとか聖ペトロという聖人を考えますと確かに凡人ではないと思いますよね。まず神様からの呼ばれ方が違います。それに死に方も殉教していますし、それに比べると私たちが聖人になるとは思えませんよね。

しかし、例えば高山右近を考えますと今、福者です。うまくいけば来年列聖かなど。列聖されるためには奇跡が必要なんですよね。詳しくは言えないんですが、奇跡があったので今ローマに申請中です。

十二使徒のような聖人もいますし、普通の生活をして列聖されて聖人になった人もいます。例えば幼きイエズスの聖テレジアの両親は二人とも聖人です。今日のごミサの説教でも触れましたように、私たちも毎日聖書を読むとか、普通の生活の中でも祈りとか霊的なことを混ぜていくと聖人が見えてくるんですよね。

聖人には死んでからなるんですが、今聖人でないと明日聖人にはなれないんです。